

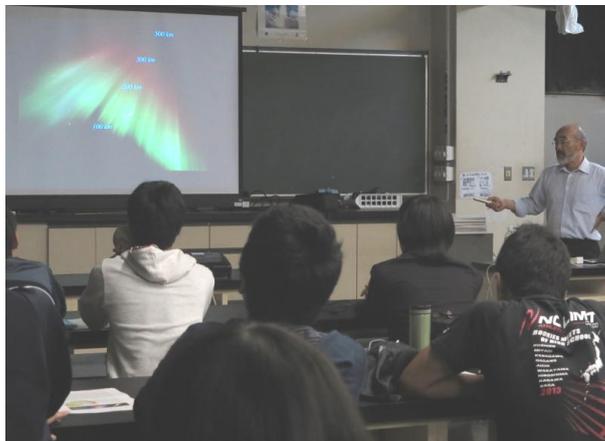


## ☆科学セミナー「オーロラ研究の最前線」を開講☆

本年度海外科学セミナー「アラスカ研修」は平成27年3月2日～7日(日本時間)実施予定です。

海外研修ではアラスカ大学フェアバンクス校での3日間の地球物理学、北極圏の自然(海・永久凍土・動植物)などの講義受講、大学関係者に向けた課題探究の英語発表、オーロラの観測、極地実験などが予定されています。

その事前学習の一環として国立極地研究所特任教授佐藤夏雄先生をお招きして連携講座「オーロラ最研究の最前線」を行いました。佐藤先生自身がオーロラ研究に携わってきたいきさつなどから始まり、「オーロラの見える高度は?」「どうやって高度を測定したのか?」「なぜカーテン状に見えるのか?」といった質問をしながら、太陽磁場と地球磁場の関係、地球の大気構造と発光のメカニズム、太陽風の荷電粒子が地球磁場にとりこまれるメカニズム、そして北極圏と南極圏で同時オーロラ観測の結果などわかりやすく説明していただきました。



## ☆SSH 情報 諏訪圏工業メッセ 2014 研修実施☆

1学年生徒諸君が、1学年学校設定科目「SSH情報」の一環として、10月16日(木)の午後(4, 5, LHR 時限目)諏訪市諏訪湖イベントホールで催された「諏訪圏工業メッセ 2014」を視察しました。過去357社(団体)が国内外から参加して実施されたメッセは見どころ、地元に住んでいても初めて知ることが沢山あったようです。「諏訪地域の企業活動に目を向けて、地域や社会と積極的に関わり、様々な人と触れ合うことで、地域社会や地元企業における科学技術発展の歴史や先端技術の研究開発等に対する関心を高め、高等学校や大学等で学ぶことの意義や各自の生き方を考えること」を目的の一つとして実施し、今後、11月に実施する



セイコーエプソン技能オリンピック出場者の作業

「先端技術研修」での経験と合わせて、地域の産業に課題を見出して、探究活動を実施する予定です。その成果は来年2月に諏訪市文化センターで予定されているSSH課題探究発表会で代表が発表します。

## 「ICT を活用した確かな学力育成事業」モデル校に指定されました

平成26年度長野県教育委員会による「情報通信技術(ICT)を活用した確かな学力育成事業」のモデル校に本校が指定され、9月下旬にタブレット端末、電子黒板、書画カメラが配備され、それらを活用するための専用無線LAN環境が本校図書室に整備されました。

「教育内容や授業形態の改善」、「生徒の理解深化と学力向上」、「生徒の情報活用能力向上」のために、ICT機器を活用した協同学習や映像活用などの実践研究を行うことを目標に、現在具体的な授業内容の検討中です。10月上旬には設備導入業者による教職員向け機器使用説明会を実施し、さっそく、2学年SSH情報の前期課題研究(一人一研究)の発表に電子黒板を活用しています。



図書館電子黒板を利用したSSH情報探究活動発表